



清水寺子安塔の雪化粧 (撮影 井坂公一会員)

会長 福田 昭一 幹事 高野 竜也

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2021~2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2022年1月25日 14号
2022年1月11日 第1例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|-------------------------|---------|------------------------|-------------|
| 1. 点 鐘 | 福田昭一会長 | 7. 今月お誕生日の会員並びにご夫人の紹介・ | |
| 2. 国歌及びロータリーソング斉唱 (黙唱) | | 今月結婚記念日の紹介 | 親睦活動委員会 |
| 君が代・奉仕の理想 | | 8. 委員会報告 | |
| 3. 会長挨拶 | 福田昭一会長 | 9. ニコニコBOXの発表 | 井坂雄祐副S A A |
| 4. 米山記念奨学生紹介及び奨学金授与 | | 10. 会員卓話 | |
| ファイルズ・アルフィラ・サイダ・サルサビラさん | | 職業奉仕月間に因み | |
| | 福田昭一会長 | | 塚崎雅之職業奉仕委員長 |
| 5. 幹事報告 | 高野竜也幹事 | 11. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 6. 2022~2023年度 理事・役員の発表 | | 12. 点 鐘 | 福田昭一会長 |
| | 伊東和幸副会長 | (司会進行 説田賢哉S A A) | |

本日のプログラム

薄井章一会員によります卓話でございます。

次週のプログラム

今後例会は、「まん延防止等重点措置」が適用になった場合は休会となります。

出席状況

| 会員数 | 出席数 | 出席免除 | 出席率 | 全員出席卓 | 3名以上欠席卓 | メイクアップ | 出席訂正率 |
|-----|-----|------|-------|-------|---------|--------|-------|
| 名 | 名 | 名 | % | 卓 | 卓 | 名 | % |
| 85 | 63 | 2 | 77.78 | 3・9 | なし | なし | 77.78 |

【会長挨拶】

福 田 昭 一 会 長



令和4年寅年、新年あけましておめでとうございます。改めて、今年も宜しくお願い致します。

昨年を振り返りますと7月からコロナも落ち着き、順調なスタートで始まりましたが、8・9月と緊急事態宣言が発令され、例会も7回休会になり10月からまた例会が再開され、12月14日にはガバナー公式訪問も無事開催する事が出来ました。

年末から正月にかけて、マイロータリーによる情報から今年国際ロータリーインターアクト活動は60周年を迎えると案内が届き、土浦南RCが提唱するインターアクト活動は何年位経つのか、調べてみたら1971年1月25日土浦日大高校で始まり、その後つくば国際東風高校で現在に至り51年目を迎えます。コロナの中、殆どこの2年間、活動が出来ませんでした。改めて東風IAC、土浦南RACも元気な青少年奉仕活動にしていかななくてはならないと思った次第です。

さて、今年に入り1月以降の事業も決定し、準備を進めてまいりましたが、来月行われる2月15日土浦RCとの合同懇親会 3月18・19日米山梅吉記念館視察など新型コロナウイルス感染急拡大を受けて、延期・中止も含め新型コロナウイルス感染拡大する中慎重に判断をしなければならぬと思っております。残り半年どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【米山記念奨学生紹介及び 奨学金授与】



【2022～2023年度 理事・役員の発表】

伊 東 和 幸 副会長

| | | | | | |
|----------------------|-------|-------------|-------|--------|-------|
| 会 長 | 伊東 和幸 | 理事（職業奉仕） | 大山 直樹 | S A A | 井坂 雄祐 |
| 会長エレクト (兼会員組織委員会) | 楠 英夫 | 理事（社会奉仕） | 稲本 修一 | 副幹事 | 樋戸 憲一 |
| 幹 事 | 説田 賢哉 | 理事（青少年奉仕） | 片岡 哲 | 副S A A | 山口 裕由 |
| 会 計 | 井坂 雄祐 | 理事（国際奉仕） | 中山 元章 | 副S A A | 石神 敦子 |
| 理事（直前会長） | 福田 昭一 | 理事（ロータリー財団） | 今泉 孝之 | 副S A A | 池田あゆみ |
| 理事（クラブ管理運営） | 片岡 信彦 | 理事（米山記念奨学） | 君山 毅 | 副会計 | 瀬尾 達朗 |

【会員卓話】

塚 崎 雅 之 職業奉仕委員長



新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。新年の始まりに卓話をさせて頂き非常に感謝しております。

前回卓話をさせて頂いた記憶が、入会しました40歳の時でして、今回10年ぶりくらいに卓話を話させて頂くことになります。

今回の卓話ですが、アメリカにいる息子の話と、M&Aを私の方の会社の方でやった事例、そしてコロナで失敗した例、その3つをお話させて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

まず、私の息子は平成7年生まれ、アメリカのワシントン大学を卒業しまして、ニューヨークの「デロイト トウシュ トーマツ」年商は6兆円のニューヨーク本店に何とか入社し、今年で4年目になり、アメリカに永住し結婚しました。

ここでアメリカと日本との経済の格差についてお話させて頂ければと思います。入社して新入社員時の年俸ですが、大学卒業して900万、3年経ちこの前連絡があった時には今1200万ということでした。非常に競争が激しいですし、特に今アメリカでは、27%の人がフリーランス、自営業で働いている、そこで勝ち残れる人は今本当の数%、後は自営業者ということで非常に厳しい社会だと聞いております。

その中で会社の運営についていろいろ息子に聞きましたら、最終的には信頼関係だという結論でした。まず部下を成長させるということで、部下が成長すると必ず上司が評価されると言っていました。上司も残業している部下に君はたとえば何故残業しているのか、残業している理由はどういうことかと聞いて、残業する理由をみんなで分かち合い助け合おうという文化であることを知りました。私たちは残業している社員たちに仕事が出来ないからと言いがちですが、実際はその理由を聞いて助けるという大切さを今勉強しております。

私の会社は建設業ですので、ぎりぎり隔週を休みとしておりましたが、去年の8月に週休2日に行ってみました。どのぐらい売り上げが下がるかと、悩んでおりましたが、実施してみると殆ど変わらず、隔週の分の給与を減らしました。その出た分を1.25倍とか1.5倍とか労働基準分を上げたら実質的に給料が上がり、モチベーションも上がりました。息子との会話からヒントを得て就業時間を見直し、働く側も休みが自由に取れるようになり結果は大変良いものとなりました。

現在ベトナムのハノイの方にも事務所がありまして、そこで設計とか施工の図面を作成しております。専用のソフトが入っておりますので、パソコンさえ使えれば専門知識はいりません。ベトナムで作成し、日本に送信して日本人のスタッフが最終確認する、そのお陰で技術スタッフに働き方改革がおき、本社の方も夕方までやる仕事が少なくなりました。現在、ハノイ市で働いているベトナム人が6名、もともとは日本人スタッフがいたのですが、コロナの時に本社に戻し完全にリモートという形に致しました。

昔の私の会社を知っている人は24時間電気がついていて、そろそろ労基署も含めた大きな事故になるのではないかと心配させてしまっている状況でしたので改善されたかなと思えました。海外に行くのがいい事ばかりではありませんが、地方の一企業が行って何とか生き抜いてきた経験としてお話できるのではないかと思います。

私は事業を一代で築いてしまったものですから、多々よそ見をしまして、飲食業や、いろんなことをしても注意してくれる人が誰もいませんでした。そんな中、コロナの時に2店舗閉店して売却することになり、思いを込めて作った大切なものを人様に売らなくてはいけないという非常に苦い経験も致しました。投資した分は当然返っては来ませんが気持ちが非常に楽になりました、今まで分散した気持ちが1つ、2つの元々の本業に集中できるようになったということは、ピンチがチャンスになったということでコロナがよかったかなと、このまま事業が拡大していったらどこかで大きくつまずき、社員や家族に辛い思いをさせていたかもしれません。

それと同時に、M&Aもやってみたいという思いがあり、「つくば手作りハムの会」の事業継承を兄と私がさせてもらって丁度4年経ちました。食肉の世界は未経験ですので、非常に難しく、免許も食品衛生管理等3年4年この仕事に携わらないと取得出来ないのですが、今年やっと兄も含めて2名が免許を取得しました。これからも地元根付いた活動をしていきたいと思っています。

M&Aの難しさというのは事業継承だけではなく、そこまで何十年も築いてきた人の思いを私たちが大切に伝えていく中で、私たちの技術を使いITを駆使し、衛生管理をしっかりやっ

ていくのは今の時代に合ってるのではないかと考えております。その中で思うように人が定着しないということは今の時代は当たり前のことですので、社員は少なくアルバイトを多く、当然外国の方や障がい者の方も採用します。働く人たちも優秀ですので、次の世代になった時に同じ事がしっかり出来る事が大切だと事業をやりながら感じています。

私の会社ですが、6号国道側が道路の拡張になって、会社が半分道路の下になるということで、現在移転の話があり、あと5、6年もしたら工事が始まり道路が出来る、私の会社がどの場所に移転するか、横に広がるのか等、経験したことのないことが毎年やって来ます。こんな時、ロータリーで学んだように先輩後輩、仲間たち等相談する相手がいるのが本当に良かったと思っています。

私もやっと50代、人生でいえばまだまだヒヨコでございますが、そのヒヨコも50代になって少しわかって来た事が多々あるように感じています。健康年齢が私の中では75歳と自分で思っております。あと20年弱です、まだまだやれると思っています。

しかし、子どもはアメリカに行ってしまったことで後継ぎがいなくなるという状況の中、親としては成功してほしい、企業としては戻って来なかったらどうしようという思いでした。この会社を今後どのように育てていったらよいのか、名前を残すべきなのか、どう引き継ぐか、今から悩んでいます。そういう中で職業奉仕と言っていいのか分かりませんが、土浦に育って街づくりに携わってきた者として、企業の価値、人、そして地域のある程度若い人たちに協力したいと強く思います。

最後に、私が息子にアメリカに行きたいといわれたときに贈った言葉は「失敗は経験になる、成功すれば自信につながる、どっちみちマイナスはない」と。

今日は、ノープランで思ったことを話せて頂こうと思い経験談話となってしまいましたが、アメリカとベトナムの事でしたら皆さんに経験をお伝え出来るかと思えます。

今日のご清聴ありがとうございました。